

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年9月期3Q	5,255,000株	29年9月期	5,255,000株
② 期末自己株式数	30年9月期3Q	124,443株	29年9月期	124,443株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年9月期3Q	5,130,557株	29年9月期3Q	5,169,627株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績等は、今後の経済情勢、市場動向に関わるリスクや不確定要因等により変動する可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成29年10月1日～平成30年6月30日）におけるわが国経済は、緩やかな景気回復が続いてまいりましたが、一方で通商問題の動向等を含め、海外経済の不確実性等に留意が必要な状況となっております。

情報通信業界におきましては、企業のソフトウェア投資は概ね横ばいの傾向となっておりますが、情報サービス業及びインターネット附随サービス業の売上高については前年同四半期（平成28年10月1日～平成29年6月30日）と比べ増加となりました。また、1世帯当たりのインターネットを利用した支出についても前年同四半期と比べ増加となりました。このような中、スマートフォンの更なる普及（特にSIMフリースマートフォンの普及）に加え、IoT（モノのインターネット）の進展やAI（人工知能）技術の進化等、情報通信に関する市場環境の変化は更に加速してまいりました。

当社グループにおきましても、この市場環境の変化に対応した事業展開のための基盤整備に取り組んでまいりました。「乗換案内」の各種インターネットサービス（携帯電話サイト・スマートフォンアプリ・スマートフォンサイト・PCサイト）の検索回数は平成30年3月には月間約2億2,900万回となりました。また、当該サービスの月間利用者数（無料サービスを月に1回以上ご利用いただいた方及び有料会員の方の合計）は当第3四半期連結累計期間においては約1,500万人となっております、多くの方々に広くご利用いただいております。

このような環境の中で、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は3,034,973千円（前年同四半期比7.4%減）、営業利益は315,551千円（前年同四半期比18.0%減）、経常利益は288,579千円（前年同四半期比28.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は157,742千円（前年同四半期比41.0%減）という経営成績となりました。

売上高につきましては、乗換案内事業セグメントの売上高の減少が、マルチメディア事業セグメント及びその他セグメントの売上高の増加を上回ったこと等により、全体として前年同四半期と比べ減少いたしました。これに加え、営業外収益の減少や営業外費用の増加、法人税等の負担率の増加等の影響により、利益につきましても減少いたしました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(乗換案内事業)

乗換案内事業では、モバイル向け有料サービスや旅行関連及びグルメ関連の事業における売上高が減少し、乗換案内事業全体として売上高は前年同四半期と比べ減少いたしました。

その結果、乗換案内事業全体としては売上高2,840,456千円（前年同四半期比9.2%減）、セグメント利益462,628千円（前年同四半期比22.9%減）となりました。

(マルチメディア事業)

マルチメディア事業では、出版関連の事業が順調に推移し、売上高は前年同四半期と比べ約7割増となりました。その影響で、損益面でもセグメント利益の計上に至りました。

それらの結果、売上高84,579千円（前年同四半期比69.6%増）、セグメント利益4,541千円（前年同四半期は15,086千円の損失）となりました。

(その他)

受託ソフトウェア開発等の事業におきましては、案件の受注・納品が順調に推移したこと等により、前年同四半期と比べ売上高は増加いたしました。また、費用面でも改善が進み、利益につきましても前年同四半期と比べ5倍超となりました。

それらの結果、売上高153,492千円（前年同四半期比36.0%増）、セグメント利益52,813千円（前年同四半期比429.4%増）となりました。

なお、上記のセグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高を相殺しておりません。また、セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書における営業利益をベースとしておりますが、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間の内部取引費用の控除前の数値であり、合計は連結営業利益と一致しておりませ

ん。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末（平成29年9月末）と比較しますと、資産は112,942千円増の5,690,421千円、負債は46,079千円増の1,001,658千円、純資産は66,862千円増の4,688,762千円となりました。

資産は、流動資産につきましては、79,865千円増の4,472,727千円となりました。これは、現金及び預金が84,349千円増の3,535,054千円、前渡金が56,770千円増の278,937千円となった影響が、受取手形及び売掛金が35,002千円減の489,708千円となった影響を上回ったこと等によるものです。現金及び預金の増加は、主に四半期純利益の発生や前受金の増加によるものです。前渡金の増加は、季節的な要因により旅行関連の仕入に係る前渡金が増加したこと等によるものです。受取手形及び売掛金の減少は、季節的な傾向として第3四半期連結会計期間の売上高があまり多くないこと等によるものです。

固定資産につきましては、33,077千円増の1,217,693千円となりました。これは、有形固定資産が20,344千円減の209,727千円、無形固定資産が2,439千円減の116,193千円、投資その他の資産が55,861千円増の891,772千円となったことによるものです。有形固定資産は、主に償却が進んでいることにより減少いたしました。無形固定資産は、ソフトウェアの取得等の一方で、償却も進み、全体としては大きな金額の変動はありませんでした。投資その他の資産は、その他有価証券や敷金及び保証金、長期貸付金の増加等が、持分法適用会社に対する持分相当額の減少等を上回り、全体として増加いたしました。

負債は、流動負債につきましては、52,060千円増の993,676千円となりました。これは、未払費用が43,846千円増の118,526千円、前受金が93,504千円増の568,933千円となった影響が、賞与引当金が55,798千円減の21,051千円となった影響を上回ったこと等によるものです。未払費用の増加は、主に夏の賞与支給額の確定によるものです。前受金の増加は、季節的な要因により旅行関連の売上に係る前受金が増加したこと等によるものです。賞与引当金の減少は、主に冬の賞与の支払と夏の賞与支給額の確定によるものです。

固定負債につきましては、5,980千円減の7,982千円となりました。これは、繰延税金負債が5,885千円減の179千円となったこと等によるものです。繰延税金負債の減少は、主に研究開発費損金不算入額の増加によるものです。

純資産は、株主資本につきましては、91,045千円増の4,629,114千円となりました。これは、利益剰余金が91,045千円増の4,163,562千円となったことによるものです。利益剰余金の増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益が剰余金の配当を上回ったことによるものです。

その他の包括利益累計額につきましては、25,596千円減の48,559千円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が22,040千円減の15,466千円、為替換算調整勘定が3,555千円減の33,092千円となったことによるものです。

非支配株主持分につきましては、1,413千円増の11,088千円となりました。これは、対象となる連結子会社における利益の発生によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,450,705	3,535,054
受取手形及び売掛金	524,711	489,708
商品及び製品	5,598	26,662
仕掛品	10,875	6,053
原材料及び貯蔵品	4	85
前渡金	222,167	278,937
繰延税金資産	47,996	38,673
その他	140,168	108,732
貸倒引当金	△9,364	△11,181
流動資産合計	4,392,862	4,472,727
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	53,901	50,021
機械装置及び運搬具（純額）	2,661	6,530
工具、器具及び備品（純額）	85,710	66,103
土地	87,799	87,072
有形固定資産合計	230,072	209,727
無形固定資産		
のれん	1,959	-
ソフトウェア	113,760	110,955
その他	2,913	5,238
無形固定資産合計	118,633	116,193
投資その他の資産		
投資有価証券	571,127	574,569
敷金及び保証金	221,692	243,358
その他	54,826	90,579
貸倒引当金	△11,735	△16,735
投資その他の資産合計	835,911	891,772
固定資産合計	1,184,616	1,217,693
資産合計	5,577,479	5,690,421

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	174,718	176,570
未払費用	74,680	118,526
未払法人税等	69,269	53,824
未払消費税等	17,998	17,729
前受金	475,428	568,933
賞与引当金	76,850	21,051
役員賞与引当金	6,000	2,700
返品調整引当金	10,524	4,008
ポイント引当金	3,123	3,003
受注損失引当金	3,534	83
その他	29,489	27,244
流動負債合計	941,616	993,676
固定負債		
ポイント引当金	2,498	2,403
繰延税金負債	6,064	179
その他	5,400	5,400
固定負債合計	13,962	7,982
負債合計	955,578	1,001,658
純資産の部		
株主資本		
資本金	277,375	277,375
資本剰余金	287,291	287,291
利益剰余金	4,072,517	4,163,562
自己株式	△99,115	△99,115
株主資本合計	4,538,069	4,629,114
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,507	15,466
為替換算調整勘定	36,648	33,092
その他の包括利益累計額合計	74,155	48,559
非支配株主持分	9,674	11,088
純資産合計	4,621,900	4,688,762
負債純資産合計	5,577,479	5,690,421

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
売上高	3,278,294	3,034,973
売上原価	1,795,009	1,701,344
売上総利益	1,483,284	1,333,629
返品調整引当金戻入額	6,947	10,524
返品調整引当金繰入額	6,138	4,008
差引売上総利益	1,484,093	1,340,145
販売費及び一般管理費	1,099,455	1,024,593
営業利益	384,637	315,551
営業外収益		
受取利息	528	1,998
受取配当金	7,395	2,395
持分法による投資利益	3,008	-
為替差益	6,393	-
受取事務手数料	2,157	250
雑収入	751	429
営業外収益合計	20,234	5,072
営業外費用		
持分法による投資損失	-	18,939
投資事業組合運用損	2,433	2,410
為替差損	-	3,322
貸倒引当金繰入額	-	7,072
雑損失	589	300
営業外費用合計	3,023	32,044
経常利益	401,848	288,579
特別利益		
固定資産売却益	479	815
投資有価証券売却益	9,500	-
関係会社株式売却益	-	0
段階取得に係る差益	-	3,022
特別利益合計	9,979	3,838
特別損失		
固定資産除却損	0	-
子会社株式評価損	564	-
子会社清算損	0	-
特別損失合計	565	-
税金等調整前四半期純利益	411,262	292,417
法人税等合計	145,295	133,261
四半期純利益	265,966	159,156
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,286	1,413
親会社株主に帰属する四半期純利益	267,253	157,742

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	265,966	159,156
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,081	△4,351
為替換算調整勘定	14,498	△2,871
持分法適用会社に対する持分相当額	17,584	△18,373
その他の包括利益合計	40,164	△25,596
四半期包括利益	306,131	133,559
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	307,417	132,145
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,286	1,413

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	乗換案内事業	マルチ メディア事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	3,129,085	49,872	3,178,958	99,336	—	3,278,294
セグメント間の内部 売上高又は振替高	734	—	734	13,533	△14,268	—
計	3,129,820	49,872	3,179,692	112,869	△14,268	3,278,294
セグメント利益 又は損失(△)	600,263	△15,086	585,177	9,976	△210,515	384,637

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託開発ソフトウェア業、情報関連機器リース業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△210,515千円には、のれん償却額△2,938千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△207,576千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年10月1日 至 平成30年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	乗換案内事業	マルチ メディア事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,840,329	84,579	2,924,908	110,065	—	3,034,973
セグメント間の内部 売上高又は振替高	126	—	126	43,427	△43,554	—
計	2,840,456	84,579	2,925,035	153,492	△43,554	3,034,973
セグメント利益	462,628	4,541	467,170	52,813	△204,431	315,551

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託開発ソフトウェア業、情報関連機器リース業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△204,431千円には、のれん償却額△1,959千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△202,472千円が含まれております。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。